

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月24日(金) 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 北館3階 多目的室
開催にあたり、授業参観を実施した。
- 4 参加者 会長 本巣市青少年推進委員
副会長 本巣市主任児童委員
委員 西秋沢自治会長
岐阜障がい者就業・支援センター雇用拡大支援員
瑞穂市社会福祉協議会福祉総合相談センター主任相談支援専門員
本巣市障害者基幹相談支援センター「えがお」主任相談支援員
愛知淑徳大学講師
岐阜聖徳学園大学教授
希望が丘こども医療福祉センター相談支援専門員(欠席)
当校PTA副会長

学校側 校長、事務部長、高等部教頭、小中学部教頭
小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケートの結果について

- ・岐阜本巣特別支援学校の組織について説明(校務分掌や学部、事務部等)
- ・各校務分掌の学校評価アンケート実施前(9月下旬実施)の取り組みについて説明
- ・各学部より学校評価アンケートの考察について説明
- ・学校評価アンケート(高等部生徒向け)についての考察を説明

意見1:生徒に対してもアンケートを実施していてよいと思った。

意見2:高等部の体育の授業では、種目を選択できて、よいと思った。自分がやりたいサッカーやダンス(外部講師が指導)を行っていた。みんな、生き生きしていた。

意見3:アンケート結果では、反省は大事だが、良い悪いにとらわれずにそればかりに翻弄されないようにすることも大切ではないかと考える。

ICTは、タブレット端末があるから使うのではなく、ここで使うことが有効であるという考え方で検討していくことが大切だと思う。また、働き方改革も一つの理由なのかもしれないが、保護者と学校が話し合う(コミュニケーション)場が減っていると感じる。難しい問題であるが、今後も一緒に考えていきましょう。

意見4:アンケートには厳しい内容もあるが、保護者と直にやり取りを行う時間を増やすことが大事かと思う。現状、時間を作るのは難しいとは思いますが。

意見 5 : 高等部の生徒へのタブレットは、実費か？

→県立高等学校（特別支援学校高等部）の来春入学の1年生より実費で購入することになっている。自前のタブレットを所持しているのであれば、それを使用するのも可ということになっている。

意見 6 : 学校評価アンケートが届いたが内容がよくわからなかった。

→今年度具体的な取り組みを書き入れたり、質問事項を少なくしたりしたのであるが、今後、さらにわかりやすく検討していく。

意見 7 : 学校評価アンケートの考察でICT活用が課題であるということだが、リアルとICTとしっかりバランスを考えて検討していくことが大切である。ICTありきではなく、ICTを使うと有効であるという視点が重要である。

意見 8 : 現場実習の報告会へぜひ参加する機会を設けていただきたい。

→今後検討する。

意見 9 : 今回の学校評価アンケートは、具体的な取り組みも書いてあり「わからない」が少なくなっていると感じた。

意見 10 : 事業所を知る会は、事業所としても大変意義があると感じた。今後も継続してほしい。

(2) 製品価格の検討

- ・提案のとおり製品の価格の設定について承認を得た。

6 会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、出席した9名の全委員より、学校評価アンケートについての忌憚なきご意見をいただくことができ、今後の学校運営に活かしていく。
- ・作業製品の価格について承認が得られた。
- ・今年度、ホテルグランヴェール岐山で行った事業所を知る会は、好評であった。場所の検討は必要であるが、地域との連携・事業所企業との連携の観点からも今後も継続して開催していく。